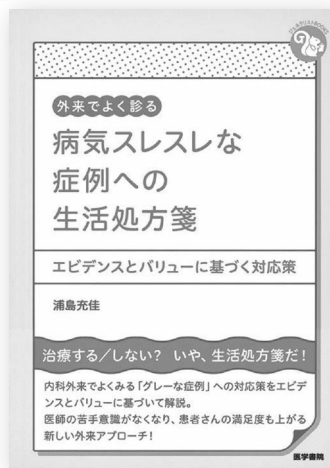




外来でよく診る

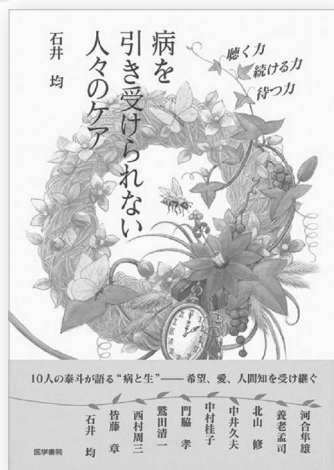
病気ストレスな症例への生活処方箋

エビデンスとバリューに基づく対応策

浦島充佳＝著

定価 3,960 円／A5 判・212 頁／医学書院／2018

一般内科外来には、ガイドラインでグレー（治療適応かどうかギリギリ）な症例も多く来院し、医師にとっては対応が難しいケースとなっている。しかし、そんなグレーな症例も、エビデンスとバリュー（患者の価値観）を基盤としたアプローチにより診療の幅は広がり、患者の満足度は上がる。外来で多く出会う生活習慣病の症例を中心に、「生活処方箋」という新たな武器を示しながら、生活習慣病の新しい診療戦略をわかりやすく示した。



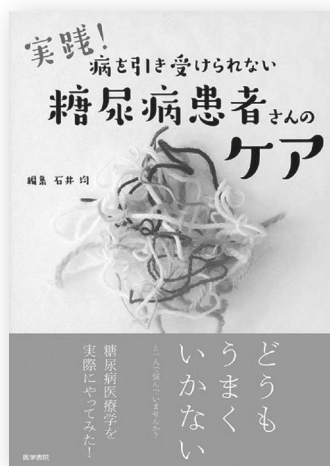
病を引き受けられない人々のケア

「聴く力」「続ける力」「待つ力」

石井 均＝著

定価 2,420 円／A5 判・252 頁／医学書院／2015

“病を引き受けられない人々”は、臨床医にとって永遠の課題だ。好評を博した『糖尿病診療マスター』誌の人気対談コーナーから 10 篇を収載。石井均氏と著名人（河合隼雄・養老孟司・北山修・中井久夫・中村桂子・門脇孝・鷺田清一・西村周三・皆藤章の各氏）が、患者さんの心の動きを深く掘り下げて語り合った。「楽しめない」「なんともない」「怖い」「自信がない」など、患者さんの言葉や行動からその意味を味わう。患者さんへの理解や接し方、そして読者の考え方が変わる 1 冊。

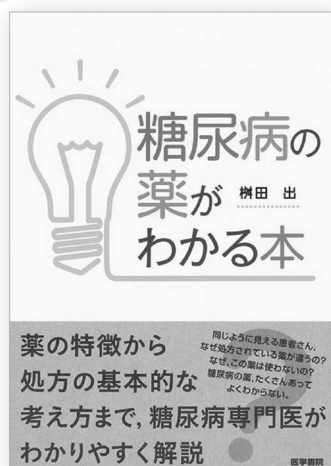


実践！病を引き受けられない糖尿病患者さんのケア

石井 均＝編

定価 2,750 円／A5 判・236 頁／医学書院／2019

多くの糖尿病患者は、「治らない」「あまり症状が出ない」ことからなかなか治療へのモチベーションを保てない。そして、このような患者（病を引き受けられない患者さん）の心理を理解することは必須であるが難しい。そこで本書では、『糖尿病診療マスター』誌に掲載された論文のなかから実際の“糖尿病患者の心理”をわかりやすく解説したものを厳選して収載。教科書的なテキストには書かれていない現実的な実践書としてまとめた。



糖尿病の薬がわかる本

樹田 出＝著

定価 1,980 円／A5 判・176 頁／医学書院／2015

同じように見える患者さん、なぜ処方されている薬が違うの？ なぜ、この薬は使わないの？ 飲み忘れた、服薬量を間違えた時の対応は？ そんな糖尿病治療薬にまつわるさまざまな疑問を糖尿病専門医がわかりやすく解説。服薬指導・服薬管理だけでなく、食事をはじめとした生活習慣の改善・指導にも役立つ 1 冊。糖尿病治療薬のもやもやを解決！